

選挙公報【詳細版】

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 京都府 )

①コールサイン : JH3TXR

②氏名(フリガナ) : 山本 祥三 (ヤマモト ショウゾウ)

③年齢 : 65歳

④職業 : 会社員

⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士、第一級陸上無線技術士、FCC Extra(KF8TW)

力を入れている無線活動

- ・コンテスト、DXペディション、国内移動運用等のアマチュア無線の多様な運用形態。
- ・JARL京都府支部と連携で、地域クラブの運営と活性化。
- ・JARL京都府支部行事への参加、支部活動の支援。
- ・次世代のアマチュア無線家の育成。
- ・アマチュア無線を通じて、社会貢献活動。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

アマチュア無線の趣味が将来も永続的に発展できるように、JARL活動のチェック、提案を行います。アマチュアコードに基づき、以下を実行したいと思います。

- ・アマチュアは、良き社会人であること  
アマチュア無線やJARLをもっと周知してもらうために、地域行政と連携を進め、社会貢献という視点でのアマチュア無線を考えたいと思います。  
例えば、非常通信訓練を通じ、趣味であるだけでなく、社会的活動としての意義の認知を広げます。さらに、これらのレベルを高めるため、JARLに提案をしていきます。
- ・アマチュアは、健全であること  
所属する登録クラブの運営とJARL京都府支部活動を通じ、各登録クラブ間の交流、さらに健全な支部運営の提案、そのためのJARLへの提案を行います。
- ・アマチュアは、親切であること  
支部や登録クラブの活動を通じ、新規開局者への運用指導などでアマチュア無線愛好家を増やす活動をします。この活動を加速するためにJARL京都府支部に環境改善提案を行い、JARL会員増強につなげて行きたいと思います。
- ・アマチュアは、進歩的であること  
私達は、「いつも新しいことは京都から」をモットーに京都で活動してきました。今後も、新しい仕組み、新技術の導入、およびその環境作りや運用体験をJARLを通じて、全国に発信していきます。
- ・アマチュアは、国際的であること  
今まで以上に海外局との交流を広める活動をします。京都に住んでいる外国人、海外から観光に来るアマチュア無線家が多くいます。過去には、これらの方々と交流を深め、各国の事情、日本との違いの認識、海外の考え方を日本に展開できないかを検討してきました。今後もこれらの情報をJARLにフィードバックし、JARLのさらなる国際化のお手伝いをします。

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関西)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 大阪府 )

- ①コールサイン : J H 3 B D B  
②氏名(フリガナ) : 入江 雅量 (イリエ マサカズ)  
③年齢 : 67歳  
④職業 : 自営業店主  
⑤無線従事者資格 : 第二級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

アナログレピータ管理団体会員

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

## 令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関西)

### ●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 奈良県 )

- ①コールサイン : JH3KCW  
②氏名(フリガナ): 吉川 寛(ヨシカワ ヒロシ)  
③年齢 : 69歳  
④職業 : 無職  
⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

#### 力を入れている無線活動

アマチュア無線大好きです。

奈良県支部長として、アマチュア無線発展の為に活動にも力を入れています。

個人的には、現在、主にFT8モードの運用にはまっています。約4万局の方々と交信ができました。海外運用ではスリランカに3回行き「4S7KCG」のコールサインで運用しました。

#### JARLに対して自分が出来る貢献(具体的に)



奈良県支部長として11期22年間で、支部役員ならびに支部会員みなさまの絶大なご理解とご協力のもと、アマチュア無線と奈良県支部発展のため、精一杯その職務を務めさせていただきました。

多数のJARL会員の皆様ともお会いができ、様々なご意見等も伺っています。これらの要望やお考えを、私なりに整理をして社員としてJARL運営に反映をさせていただきます。

QSLカード転送遅延問題をはじめJARL組織運営の透明化など、多数の検討すべき課題が山積しています。皆様方と一緒に考えたいと思います。

昨年、アマチュア無線に関する制度改正が施行されました。「体験運用」の実施などを通して、若いアマチュア無線家の育成なども推進します。

趣味のアマチュア無線は本来は個人的なものです。それ以上に、会員間のコミュニケーションが大切だと考えています。

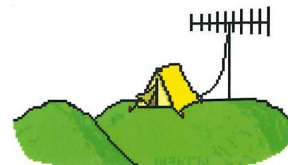
今後も引き続きJARLの健全な発展のため努力を惜しまず前向きな取り組みをしてまいります。みなさま、どうぞ宜しくお願いいたします。

1971年以降53年間JARL正員です。

<http://www.dental.gr.jp/web/jh3kcw/>

[jh3kcw@jarl.com](mailto:jh3kcw@jarl.com)

JH3KCW 吉川 寛



令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関西)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 大阪 )

- ①コールサイン : JA3WDL
- ②氏名(フリガナ) : 井村 厚(いむら アツシ)
- ③年齢 : 72才
- ④職業 : 無職
- ⑤無線従事者資格 : 第2級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ・V.UHF(電話)で、アマチュア無線を楽しんでいます。
- ・JARL大阪府支部の幹事としても、諸取り組みに参加しています。(大阪では、あたり前ですが、交通費・飲食の補助などありません=無報酬です。)

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

所 信

6期にわたる社員へのご支援をいただき、社員総会に出席して審議に加わるだけでなく、地域クラブでの世話役や所属支部 及び 地方本部の中で、役割を担って来ました。

皆さん方には、この間のご支援、誠にありがとうございました。

JARL 会費の有効な使い方をチェックするのは勿論で、身の丈にあった会員が納得できる、メリハリのある支出を目指さなければなりません。

具体的には

・交信証のビューロ転送制度を守り抜きたいです。一方で、会員の皆さんにも訴えます。ビューロでの作業効率を上げる取り組みでは、私も呼びかけてきていますが コンテストでの無差別的な交信証発行は今後も控えること。また交信証発送時に交信証を局名録順に並べることなど、ちょっとした配慮を会員に求める活動も強化していきます。

・若いハムの JARL 会員化をこれからも目指します。アマチュア無線の世界に入ってきた状況はそれぞれ異なると思いますが、優しく丁寧な係わりを普段から目指します。そのためには、JARL 登録クラブ活動の質と量的な拡大がなによりも重要です。KANHAM 会場などでの「JARL 何でも相談」でも、これからも奮闘をします。

皆さん、更に楽しいハムライフを送って行きましょう。

『社員選挙投票』へのご支援を、よろしくお願い申し上げます。

## 令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関西)

### ●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 兵庫県 )

- ①コールサイン : J L 3 J R Y  
②氏名(フリガナ) : 屋田 純喜(オクダ ジュンキ)  
③年齢 : 52歳  
④職業 : 地方公務員  
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士・FCC Amateur Extra

#### 力を入れている無線活動

- ・ 関西アマチュア無線フェスティバル(KANHAM) 実行委員長
- ・ JARL 関西地方本部役員 ・ JARL 兵庫県支部役員
- ・ DXCCハンティング (Honor Roll)
- ・ コンテスト (国内・国外)

#### JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

私は、毎年初夏に大阪府池田市で開催される「関西アマチュア無線フェスティバル」の実行委員長を2005年から就任し、今年も継続して担当させていただいています。

KANHAMでは、アマチュア無線の祭典として全国から訪れていただく皆さんへ、最大限に楽しんでもらえるよう多彩なイベントを企画していますが、同じ情熱の熱量で、次世代の子どもたちにも電気・通信・科学などの魅力を伝えるようイベントになるように、青少年向けイベントにもこだわって開催しています。

一例を挙げると、国際宇宙ステーションとの交信 (ARISSスクールコンタクト) や南極昭和基地とのコンタクト「南極教室」などを協力して開催してきました。これらは、今話題の「体験運用」の先駆けのようなイベントであり、アマチュア無線だからできる、普段の生活では体験できない子どもたちへのイベント企画だと思います。

そこで、これまでKANHAMイベントで体験した様々な経験や、知り合えた人脈を大いに活用して、次のようなJARLへの活動を継続したいと思っています。

#### 【J L 3 J R Y(屋田) が考える社員としての貢献活動】

- ・ アマチュア無線イベント開催による、JARL会員同士の交流やつながりへの取組
- ・ アマチュア無線を活用した、子供たちへの通信の魅力を伝えるイベント企画
- ・ アマチュア無線の体験運用に係るマニュアル作成や開催サポート
- ・ KANHAMなどイベントを通じて知り合えた人脈を活用した、JARL運営への提案

ぜひ、皆様の温かいご支援と1票をお願いいたします。

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関西)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 兵庫県支部 )

- ①コールサイン : JA3NDM  
②氏名(フリガナ) : 藤原 美和 (フジワラ ヨシカズ)  
③年齢 : 73才  
④職業 : 無職  
⑤無線従事者資格 : 第二級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ・常置場所からはV/UHF帯から5.7GHz/10.1GHz/24GHz等SHF帯の運用。
- ・設置場所からはHF帯の運用。
- ・クラブ局JA3ZZP局運用管理、JL3ZPO局六甲南ビーコンクラブ構成員、430MHz/1.2GHzのレピーターJR3VK局、日本で唯一の29MHzFMレピーターJP3YHY局等の運営管理。
- ・真空管式送受信機の収集と保守メンテナンス、修理。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- ・関西ハムシンポジウムの参画から実行を含む、兵庫県支部行事全般における協力。
- ・関西アマチュア無線フェスティバルのスタッフとして協力。
- ・JARL通常総会では常識ある判断をします。
- ・ARDF審判員の講師。
- ・全日本ARDF競技大会、関西ARDF競技大会の実行委員、審判員として協力。

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 大阪府 )

- ①コールサイン : **JG3DOR**  
②氏名(フリガナ) : 河端 良治 (カワバタ リョウジ)  
③年齢 : 59歳  
④職業 : 国立研究開発法人 監査部門勤務  
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

移動運用(国内は全都道府県、399市、196郡から運用)  
JD1BLU, WH0M, T880R, 4S7DOG, HL5/JG3DOR, BW/JG3DOR  
電子工作(QRP送信機等) 各地で行われているJARL支部の集い等への参加

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

**社員総会を通じて支部役員等ではない会員の率直な意見を伝え、JARLやアマチュア無線界に貢献します。**

・まずはきっちりQSL転送

多くのかたが転送を目的に入会されています。迅速な処理と電子化への誘導を行い、カード転送の少ない人にも不公平感のないようにしてほしい。

・本部も地方も財務諸表の公開を

森田会長の講演によると、前会長は各地の支部の集い出席の際に「祝金」なるお金が本部から支払われたが、その会計処理は各支部のより異なっていたとのこと。地方本部や各支部も財務諸表を公開し、健全な運営をしてほしい。

・不法運用局やマナー指導もしっかりと

体験局の実績をアピールしていますが、実際に免許を取得してもあの不法局の交信を聞いて無線を続けられるのでしょうか。現実も見してほしい。

・社員は会員の代弁者

今のような支部関係者が多い社員構成では、一般の会員の立場での意見が届くとは思いません。幅広い会員層から選ばれるべきです。ご支援お願いします。

## 令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関西)

<b>●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 大阪府支部 )</b>	
①コールサイン	: J A 3 H B F
②氏名(フリガナ)	: 田原 廣 (タハラ ヒロシ)
③年齢	: 75歳
④職業	: 自営業
⑤無線従事者資格	: 第一級アマチュア無線技士
力を入れている無線活動	
・ 地方本部活動                      ・ レピータ設置／メンテナンス活動	
・ 支部活動	
・ コンテスト参加	
・ DX	
JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)	
<b>【経理の正常化に向けて】</b>	
特に会員の皆様方からお預かりした貴重なお金の使われ方に疑問を抱き帳簿開示を請求しました。しかし、前の会長は帳簿開示を拒否しました。そのため、仕方なく裁判所に仮処分の訴えをしました。裁判所は私たちの訴えが法律に則って行われている事を認め、当時の執行部に開示命令を出しました。	
しかし、開示拒否が毎年のように行われるため、私たちは本訴訟を起こす事とし、昨年にその判決がだされ、当然の事として開示するように判決が出されました。それでも前会長はそれを控訴しました。しかし、今年の社員総会直前に辞任届を提出し、理事会では解職を決議しました。その後、新しい会長が選任され、控訴も取り下げられ、前会長の任期中の7年分の帳簿が開示されました。その中には不適切と思われる支出が多く見受けられ、それらを明らかにしていきたいと思えます。	
<b>【アマチュア無線制度改革】</b>	
アマチュア無線制度は徐々に簡素化に向かってきました。しかし、昨年からの移動しない局に関して電波防護指針や無線設備の更新に関して総務省・総合通信局での扱いは厳しくなりました。私たちは半世紀前から「米国式包括免許制度」と同等の制度が実現する事に向けて要望をしてきました。これからも、この要望は続けていきたいと思っています。	
<b>【ローバンドの細切れ解消に向けて】</b>	
ご存じの通り、1.9MHz帯、3.5MHz帯はいくつかに分割されて、連続したバンドとして許可されていません。諸外国では連続して許可されています。電波に国境はありません。私たち日本でも連続して許可していただくよう要望を続けてまいりたいと思っています。	



令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(関西)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 滋賀県支部 )

- ①コールサイン : JK3IJQ  
②氏名(フリガナ) : 大東 治宜 (ダイトウ ハルヨシ)  
③年齢 : 59才  
④職業 : 会社員  
⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

滋賀県内を中心にした移動運用  
JARL滋賀県支部のクラブ局運用  
記念局の計画と運用

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

●交流の場の企画と実行

滋賀県支部で毎年開催しているハムの集いを継続して行います。

皆さんがご興味を持たれている内容を題材にした技術講習会を実施します。

滋賀県内の行事に合わせた記念局を計画し実行します。この記念局の公開運用、体験運用を通じて皆さんの交流の場や次世代ハムの発掘の場になるようにします。

●QSL転送時間の改善

電子QSL(hQSL)利用者を増やし、紙QSLの転送量を減らすことによりQSL転送時間の改善するように努力します。

hQSLについて、技術サポートを積極的に行います。

また、hQSLを題材にした技術講習会の開催を計画します。

●カムバックハムのサポート

過去に、カムバックハムの方々から何件か運用などについての問い合わせをいただいております。このことから中には、問い合わせたいのだが誰に聞いていいのかわからないカムバックハムの方がたくさんおられると思います。この方々のサポートを行えるような窓口を立ち上げます。